

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月4日

上場会社名 西日本鉄道株式会社

上場取引所 東 福

コード番号 9031 URL <http://www.nishitetsu.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 竹島 和幸

問合せ先責任者 (役職名) 広報室広報課長

(氏名) 吉田 哲治

TEL 092-734-1217

四半期報告書提出予定日 平成22年2月15日

配当支払開始予定日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	228,088	13.5	5,709	40.0	4,330	48.3	870	58.1
21年3月期第3四半期	263,645		9,510		8,369		2,075	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	2.20	
21年3月期第3四半期	5.25	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	398,854	102,432	25.1	253.06
21年3月期	400,997	104,473	25.5	258.34

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 100,019百万円 21年3月期 102,127百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期		3.00		3.00	6.00
22年3月期		3.00			
22年3月期 (予想)				3.00	6.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	310,000	10.2	7,100	34.5	5,200	43.4	1,800	74.7	4.55

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 社 (社名) 除外 社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は5ページ[定性的情報・財務諸表等]4.その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

会計基準等の改正に伴う変更 有

以外の変更 無

(注)詳細は5ページ[定性的情報・財務諸表等]4.その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	396,800,930株	21年3月期	396,800,930株
期末自己株式数	22年3月期第3四半期	1,564,211株	21年3月期	1,480,549株
期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第3四半期	395,264,882株	21年3月期第3四半期	395,573,158株

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記の業績予想につきましては、平成21年10月29日に公表した内容から変更しています。

2. 上記の業績予想は、発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、5ページ[定性的情報・財務諸表等]3.連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

(参考)

平成22年3月期の個別業績予想(平成21年4月1日~平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

通 期	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
	126,500	1.2	4,800	20.9	4,600	24.5	4,000	60.6	10.12

(注)個別業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記の業績予想につきましては、平成21年10月29日に公表した内容から変更しています。
2. 上記の業績予想は、発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、経済対策の効果等により景気に底入れ感が見られたものの、経済活動の水準は依然低く、給与所得の減少、雇用情勢の悪化や、物価が下落傾向を強めていること等、依然として厳しい状況で推移しました。

当第3四半期連結累計期間の営業収益は、国際物流事業での取扱高の減少や、景気低迷による各事業での減収等により、2,280億8千8百万円（前年同期比 13.5%減）となりました。営業利益は57億9百万円（前年同期比 40.0%減）、経常利益は43億3千万円（前年同期比 48.3%減）、四半期純利益は、関係会社整理損失引当金の計上等もあり、8億7千万円（前年同期比 58.1%減）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりです。

なお、平成21年4月1日に、流通業において、(株)スピナの行うスーパーマーケット事業を(株)西鉄ストアが承継しました。また、同日、レジャー・サービス業において、(株)西鉄ホテルシステムズが主に当社からの土地・建物等の賃借で行っていたビジネスホテル事業を当社の直営としました。

これに伴い、第1四半期連結会計期間より、(株)スピナを流通業から不動産業（一部流通業）に区分変更しています。また、当社の事業別セグメントにホテル業を新設し、レジャー・サービス業に区分していません。

（運輸業）

バス事業で、景気低迷の影響に加え、IC乗車券への移行に伴うバスカードとの収益計上方法の差による減収や、高速道路の休日特別割引の影響等があったこと、貨物運送業で取扱高が減少したこと等により、営業収益は693億5千4百万円（前年同期比 8.2%減）、営業利益は10億5千万円（前年同期比 44.4%減）となりました。

なお、旅客人員は鉄道事業で7千9百万人（前年同期比 2.7%減）、バス事業（乗合）で2億2百万人（前年同期比 7.6%減）となりました。

（流通業）

ストア業において、(株)スピナの区分変更や、その他流通業での軽油販売価格の下落等により、営業収益は656億7千9百万円（前年同期比 14.8%減）、営業利益は8億4千1百万円（前年同期比 32.3%減）となりました。

（不動産業）

不動産賃貸業で、ホテル業（ビジネスホテル）を当社の直営としたことにより、同事業からの賃貸収入が減少した一方で、(株)スピナの区分変更に伴う増収や、不動産分譲業での販売戸数の増加等により、営業収益は337億8千5百万円（前年同期比 14.3%増）、営業利益は57億4千2百万円（前年同期比 5.4%減）となりました。

（レジャー・サービス業）

利用運送事業（国際物流事業）における取扱高の減少、旅行業やホテル業等での景気低迷の影響等により、営業収益は612億1千万円（前年同期比 25.0%減）となり、営業損益は7億4千5百万円の営業損失となりました。

（その他の事業）

自動車製造業、建設関連の事業等での受注減等により、営業収益は246億4千4百万円（前年同期比 25.9%減）、営業損益は17億6千8百万円の営業損失となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 全般の状況

資産は、現金及び預金が増加した一方、受取手形及び売掛金や投資有価証券の減少等により、前連結会計年度末に比べ21億4千3百万円減少し、3,988億5千4百万円となりました。

負債は、長期借入金の増加や社債を発行した一方、支払手形及び買掛金の減少等により、前連結会計年度末に比べ1億2百万円減少し、2,964億2千1百万円となりました。

純資産は、配当等による利益剰余金の減少等により、前連結会計年度末に比べ20億4千万円減少し、1,024億3千2百万円となりました。

(2) 連結キャッシュ・フローの状況

営業活動により得られた資金は、税金等調整前四半期純利益41億4千9百万円、減価償却費165億4千万円、仕入債務の減少額（支出）85億3千7百万円等により、131億8千万円となりました。

投資活動により使用した資金は、固定資産の取得による支出172億9千7百万円等により、146億9千3百万円となりました。

財務活動により得られた資金は、借入金や社債の純増による収入104億4千9百万円、配当金の支払額23億4千5百万円等により、77億8千1百万円となりました。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ63億6千5百万円増加し、219億7千9百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期連結業績予想につきましては、平成21年10月29日公表の内容から変更しています。

営業利益及び経常利益については、旅行業、ホテル業等における業績の下ぶれを見込んでいます。

当期純利益については、固定資産売却益の増加を見込んでいる一方、西日本車体工業(株)の解散決定に伴い、当第3四半期連結会計期間において関係会社整理損失引当金を計上したこと等により、前回予想を見直しています。

[通期連結業績予想]

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	310,000	7,800	5,800	2,400	6.07
今回発表予想(B)	310,000	7,100	5,200	1,800	4.55
増減額(B-A)	-	700	600	600	-
増減率(%)	-	9.0	10.3	25.0	-
前期実績	345,147	10,843	9,185	1,030	2.60

(注)上記の業績予想は、発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

たな卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっています。

また、たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっています。

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算出する方法によっています。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

「工事契約に関する会計基準」の適用

第1四半期連結会計期間より「工事契約に関する会計基準」(企業会計基準第15号 平成19年12月27日)及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日)を適用し、第1四半期連結会計期間に着手した工事契約から、当第3四半期連結会計期間末までの進捗部分について成果の確実性が認められる工事については工事進行基準(工事の進捗率の見積りは原価比例法)を、その他の工事については工事完成基準を適用しています。

これによる損益への影響は軽微です。

5.【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,307	15,784
受取手形及び売掛金	22,790	28,406
有価証券	1	6
販売土地及び建物	23,377	24,532
商品及び製品	3,647	3,626
仕掛品	3,060	1,394
原材料及び貯蔵品	1,779	1,982
繰延税金資産	2,320	3,585
その他	4,862	3,802
貸倒引当金	223	225
流動資産合計	83,924	82,895
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	159,429	163,467
機械装置及び運搬具(純額)	19,255	21,906
土地	83,388	78,071
建設仮勘定	5,894	5,483
その他(純額)	6,066	6,581
有形固定資産合計	274,032	275,510
無形固定資産		
のれん	582	798
その他	7,296	7,250
無形固定資産合計	7,878	8,049
投資その他の資産		
投資有価証券	20,318	22,024
繰延税金資産	8,165	7,966
その他	5,266	5,121
貸倒引当金	731	569
投資その他の資産合計	33,018	34,542
固定資産合計	314,930	318,102
資産合計	398,854	400,997

(単位:百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	25,549	37,016
短期借入金	35,963	39,987
1年内償還予定の社債	7,000	-
未払消費税等	1,347	637
未払法人税等	567	2,128
前受金	3,370	2,942
賞与引当金	1,932	4,847
その他の引当金	1,564	298
その他	20,583	17,655
流動負債合計	97,878	105,513
固定負債		
社債	50,000	50,000
長期借入金	90,085	82,604
繰延税金負債	788	767
退職給付引当金	13,923	13,455
その他の引当金	1,265	1,517
長期預り保証金	41,608	42,022
その他	870	643
固定負債合計	198,542	191,010
負債合計	296,421	296,524
純資産の部		
株主資本		
資本金	26,157	26,157
資本剰余金	12,920	12,920
利益剰余金	59,825	61,326
自己株式	562	531
株主資本合計	98,342	99,873
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,665	3,311
繰延ヘッジ損益	1	0
為替換算調整勘定	989	1,058
評価・換算差額等合計	1,677	2,253
少数株主持分	2,413	2,346
純資産合計	102,432	104,473
負債純資産合計	398,854	400,997

(2)【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
営業収益	263,645	228,088
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	236,892	203,184
販売費及び一般管理費	17,242	19,194
営業費合計	254,135	222,378
営業利益	9,510	5,709
営業外収益		
受取利息	83	39
受取配当金	574	548
持分法による投資利益	43	64
雑収入	664	671
営業外収益合計	1,365	1,324
営業外費用		
支払利息	2,235	2,304
雑支出	270	399
営業外費用合計	2,506	2,703
経常利益	8,369	4,330
特別利益		
固定資産売却益	923	1,064
投資有価証券売却益	292	582
受託工事金受入額	105	89
工事負担金等受入額	21	186
その他	-	102
特別利益合計	1,343	2,025
特別損失		
固定資産圧縮損	641	482
減損損失	145	364
たな卸資産評価損	1,304	-
厚生年金基金脱退拠出金	838	-
関係会社整理損失引当金繰入額	-	1,083
その他	727	276
特別損失合計	3,657	2,206
税金等調整前四半期純利益	6,055	4,149
法人税、住民税及び事業税	2,415	1,604
法人税等調整額	1,221	1,522
法人税等合計	3,636	3,127
少数株主利益	342	151
四半期純利益	2,075	870

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	6,055	4,149
減価償却費	16,188	16,540
のれん償却額	222	231
減損損失	145	364
固定資産除却損	760	315
固定資産圧縮損	641	482
たな卸資産評価損	1,304	-
工事負担金等受入額	127	276
固定資産売却損益(は益)	923	1,064
賞与引当金の増減額(は減少)	2,826	2,915
退職給付引当金の増減額(は減少)	358	467
その他の引当金の増減額(は減少)	1,651	993
受取利息及び受取配当金	657	588
支払利息	2,235	2,304
投資有価証券売却損益(は益)	292	578
売上債権の増減額(は増加)	5,964	4,625
たな卸資産の増減額(は増加)	7,535	261
その他の資産の増減額(は増加)	230	894
仕入債務の増減額(は減少)	5,071	8,537
未払消費税等の増減額(は減少)	481	888
その他の負債の増減額(は減少)	2,614	3,097
その他	175	738
小計	16,153	18,606
利息及び配当金の受取額	693	627
利息の支払額	2,214	2,259
法人税等の支払額	3,697	3,793
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,935	13,180
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の償還による収入	-	5
固定資産の取得による支出	28,535	17,297
固定資産の売却による収入	602	851
投資有価証券の取得による支出	576	2,457
投資有価証券の売却及び償還による収入	320	3,530
工事負担金等受入による収入	1,653	746
その他	226	71
投資活動によるキャッシュ・フロー	26,307	14,693
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	7,315	4,119
長期借入れによる収入	19,050	18,400
長期借入金の返済による支出	11,002	10,831
社債の発行による収入	10,000	7,000
社債の償還による支出	8,000	-
配当金の支払額	2,764	2,345
その他	228	322
財務活動によるキャッシュ・フロー	14,369	7,781
現金及び現金同等物に係る換算差額	448	97
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	1,450	6,365
現金及び現金同等物の期首残高	24,590	15,613
現金及び現金同等物の四半期末残高	23,139	21,979

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

	運輸業 (百万円)	流通業 (百万円)	不動産業 (百万円)	レジャー・ サービス業 (百万円)	その他の 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
営業収益	75,526	77,070	29,559	81,661	33,261	297,078	(33,433)	263,645
営業費	73,636	75,827	23,485	80,699	34,070	287,719	(33,583)	254,135
営業利益又は 営業損失()	1,889	1,242	6,073	962	808	9,359	150	9,510

(注) 1 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

2 事業区分の方法

日本標準産業分類をベースに、経営の多角化の実態が具体的かつ適切に開示できるよう、事業を区分しています。

3 各事業区分の主要な事業内容

運輸業

鉄道事業、バス事業等を行っています。

流通業

ストア業、石油製品販売業、フォークリフト販売業等を行っています。

不動産業

不動産賃貸業、不動産分譲業、不動産管理業を行っています。

レジャー・サービス業

利用運送事業、ホテル業、広告代理店業等を行っています。

その他の事業

整備・解体・修理業、自動車製造業、電気工事業等を行っています。

4 当第3四半期連結累計期間における営業費は、全額各セグメントに配賦しており、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

	運輸業 (百万円)	流通業 (百万円)	不動産業 (百万円)	レジャー・ サービス業 (百万円)	その他の 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
営業収益	69,354	65,679	33,785	61,210	24,644	254,673	(26,584)	228,088
営業費	68,303	64,838	28,042	61,955	26,412	249,552	(27,173)	222,378
営業利益又は 営業損失()	1,050	841	5,742	745	1,768	5,120	588	5,709

(注) 1 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

2 事業区分の方法

日本標準産業分類をベースに、経営の多角化の実態が具体的かつ適切に開示できるよう、事業を区分しています。

3 事業区分の変更

従来、流通業に区分していた(株)スピナは、第1四半期連結会計期間において、主たる事業であったスーパーマーケット事業を(株)西鉄ストアに分割譲渡しました。この結果、(株)スピナの主たる事業は、不動産賃貸業となりましたので、不動産業(一部については流通業)に事業区分を変更しています。

これにより従来の事業区分によった場合と比較して、当第3四半期連結累計期間の営業収益は不動産業で3,507百万円増加するとともに、流通業で3,108百万円減少し、営業利益は不動産業で345百万円増加するとともに、流通業で同額減少しています。

4 各事業区分の主要な事業内容

運輸業

鉄道事業、バス事業等を行っています。

流通業

ストア業、石油製品販売業、フォークリフト販売業等を行っています。

不動産業

不動産賃貸業、不動産分譲業、不動産管理業を行っています。

レジャー・サービス業

利用運送事業、ホテル業、広告代理店業等を行っています。

その他の事業

整備・解体・修理業、自動車製造業、電気工事業等を行っています。

5 当第3四半期連結累計期間における営業費は、全額各セグメントに配賦しており、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費はありません。

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

	日本 (百万円)	アジア (百万円)	北米 (百万円)	ヨーロッパ (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
営業収益	234,422	14,607	10,943	7,927	267,899	(4,254)	263,645
営業費	226,478	13,919	10,345	7,679	258,422	(4,287)	254,135
営業利益	7,943	687	598	248	9,476	33	9,510

(注) 1 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

2 国又は地域の区分の方法

地理的近接度により、国又は地域の区分をしています。

3 日本以外の区分に属する主な国または地域

アジア 中国、シンガポール、タイ、韓国

北米 アメリカ

ヨーロッパ イギリス、ドイツ

4 当第3四半期連結累計期間における営業費は、全額各セグメントに配賦しており、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

	日本 (百万円)	アジア (百万円)	北米 (百万円)	ヨーロッパ (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
営業収益	211,123	8,345	6,821	3,940	230,230	(2,142)	228,088
営業費	205,707	8,232	6,625	3,988	224,554	(2,175)	222,378
営業利益又は 営業損失()	5,416	112	195	48	5,675	33	5,709

(注) 1 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

2 国又は地域の区分の方法

地理的近接度により、国又は地域の区分をしています。

3 日本以外の区分に属する主な国または地域

アジア 中国、シンガポール、タイ、韓国

北米 アメリカ

ヨーロッパ イギリス、ドイツ

4 当第3四半期連結累計期間における営業費は、全額各セグメントに配賦しており、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費はありません。

【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

海外売上高は、連結営業収益の10%未満のため、記載を省略しています。

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

海外売上高は、連結営業収益の10%未満のため、記載を省略しています。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

1.セグメント別損益概況

(第3四半期連結業績)

(単位:億円、単位未満は四捨五入)

	当第3四半期 連結累計期間	前第3四半期 連結累計期間	増減額	増減率(%)
営業収益				
運輸業	694	755	62	8.2
流通業	657	771	114	14.8
不動産業	338	296	42	14.3
レジャー・サービス業	612	817	205	25.0
その他の事業	246	333	86	25.9
小計	2,547	2,971	424	14.3
消去	266	334	68	-
合計	2,281	2,636	356	13.5
営業利益				
運輸業	11	19	8	44.4
流通業	8	12	4	32.3
不動産業	57	61	3	5.4
レジャー・サービス業	7	10	17	-
その他の事業	18	8	10	-
小計	51	94	42	45.3
消去	6	2	4	-
合計	57	95	38	40.0

(通期連結業績予想)

(単位:億円、単位未満は四捨五入)

	当期(予想)	前期	増減額	増減率(%)
営業収益				
運輸業	926	991	65	6.6
流通業	887	1,015	128	12.6
不動産業	501	441	61	13.7
レジャー・サービス業	830	994	164	16.5
その他の事業	405	512	107	21.0
小計	3,548	3,952	404	10.2
消去	448	501	53	-
合計	3,100	3,451	351	10.2
営業利益				
運輸業	7	20	13	66.3
流通業	12	14	3	19.1
不動産業	78	77	1	1.0
レジャー・サービス業	12	1	13	-
その他の事業	17	3	14	-
小計	67	110	43	38.8
消去	4	1	5	-
合計	71	108	37	34.5

2.数量等(連結)

(1)鉄道事業(連結)

	単位	当第3四半期 連結累計期間	前第3四半期 連結累計期間	増減	増減率(%)
旅客人員	千人	79,385	81,555	2,170	2.7
定期外	千人	37,064	39,649	2,585	6.5
定期	千人	42,321	41,906	415	1.0
旅客収入	百万円	15,815	16,266	450	2.8
定期外	百万円	10,008	10,510	502	4.8
定期	百万円	5,807	5,755	52	0.9

(2)バス事業(乗合)(連結)

		当第3四半期 連結累計期間	前第3四半期 連結累計期間	増減	増減率(%)
旅客人員	千人	202,960	219,554	16,594	7.6
定期外	千人	118,058	130,699	12,641	9.7
一般	千人	112,693	124,880	12,187	9.8
高速	千人	5,365	5,819	454	7.8
定期	千人	84,902	88,855	3,953	4.4
旅客収入	百万円	36,259	39,243	2,984	7.6
定期外	百万円	27,456	30,351	2,894	9.5
一般	百万円	20,706	22,707	2,000	8.8
高速	百万円	6,750	7,644	893	11.7
定期	百万円	8,803	8,892	89	1.0

IC乗車券への移行に伴うバスカードとの収益計上方法の差による一時的減少を含む。

(3)分譲業(連結)

		当第3四半期 連結累計期間	前第3四半期 連結累計期間	増減	増減率(%)
分譲販売区画数	区画	384	259	125	48.3
マンション	戸	135	95	40	42.1
戸建	区画	249	164	85	51.8

(4)国際物流事業(連結)

		当第3四半期 連結累計期間	前第3四半期 連結累計期間	増減	増減率(%)
航空輸出	千ト	75	93	17	19.0
航空輸入	千件	249	304	55	18.1
海運輸出	千TEU	21	23	2	10.4
海運輸入	千TEU	23	31	8	26.0